

富士通エフ・アイ・ピー株式会社様

ペーパーレス会議システムの導入でテレビ会議システムの使いやすさが向上し、国内22拠点を結ぶ多拠点間会議の質向上を実現

導入背景

- テレビ会議では、資料の共有性（本社はプロジェクターにカラー表示、他拠点は白黒印刷の紙資料）に課題があり、資料の訴求力／共感度に温度差が発生
- 会議資料の準備、後作業など会議開催にかかる負荷が増加

導入効果

- 本社／他拠点とも、発表者と同期された資料をタブレット端末で共有できるため会議の理解度が向上し、温度差を解消
- 資料は直前まで修正可能、最新版だけを会議専用ライブラリ（書庫）に格納するため管理の手間がなく作業を効率化

富士通エフ・アイ・ピー株式会社(以下、富士通FIP)様は、富士通SSLのペーパーレス会議システム『WebコアConference』多地点間同期オプションProを導入。富士通FIPのテレビ会議システムと組み合わせ、国内22拠点が参加する大規模な会議でも各拠点の参加者は手元のタブレット端末で資料の閲覧が可能となり、理解度が向上。「会議の質」向上を実現しました。



経営情報システム部 SFAスペシャリスト 吉田 誠司氏

リファレンスモデル化推進室 室長代理 小池 克彦氏

会議のスタイルを変えることがワークスタイル変革につながると考えました

富士通FIPでは、業務効率化を進めるなかワークスタイルの変革に着手。会議スタイルの変革に取り組んだ、経営情報システム部 SFAスペシャリスト吉田誠司氏は語る。

「まず、会議を手軽に行えるようノートパソコン、無線LAN、テレビ会議システムなどの基盤を整えました。テレビ会議システムの導入により、全国の拠点から参加者が集まる会議では、移動時間やコストなどが削減できました。一方、資料の準備にかかる手間や資料の共有性について、参加者間の温度差に課題が残りました。」

そこで考えたのが、ペーパーレス会議システムの導入。吉田氏は続ける。「資料は印刷不要で、直前まで差し替え可能、さらに希望者自身がダウンロードできるなどのメリットがありました。さらに、他拠点の参加者も発表者と同期された資料を端末で閲覧することで、参加者間の温度差を解消できると考えたのです。」



〔「WebコアConference」多地点間同期オプションProを活用した会議の様子。本社で発表する社員と、手元の端末で資料を確認する拠点参加者〕

マルチOSで使えること、これが導入の決め手でした

システムの導入にあたり製品比較を行った結果、Windows、Android、iOSと複数のOS混在で利用できることがポイントとなり『WebコアConference』多地点間同期オプションProに決定。この点について、リファレンスモデル化推進室 室長代理 小池克彦氏は語る。

「Windowsが使えることは最大の魅力でした。タブレット端末はもちろん、ノートパソコンやデスクトップなどデバイスを選ばず今ある機材を使えると導入が容易になりますね。さらに、多地点間同期オプションProは、全国に拠点を持つ当社にぴったりの機能でした。」

富士通FIPでは導入前にトライアルを実施。「2～3部署から始めましたが、一度利用した社員の『使いやすい』

『便利』というクチコミにより、導入半年後の現在は大規模な会議から部内の会議まで20部署以上で利用されています。システム自体わかりやすいので解説不要、運用側は希望者に管理者IDを発行するだけで、それ以外の管理は不要。利用者／運用者双方に便利なおことも大きなメリットですね。」

(吉田氏)

会議の準備にかかる手間を軽減し、紙の使用量は前年同月比マイナス65%と、コストを大幅に削減。拠点参加者の評判も期待通り上々だと言う。

見せるプレゼンツールやバーチャル会議としても活用しています

さらに、富士通FIPでは新たな活用法を実践。「プロジェクターに接続されたパソコンの前に立つという制約がないので、タブレット端末を手に自由に歩き、“見せるプレゼンテーション”ツールとして活用しています。」

(小池氏)

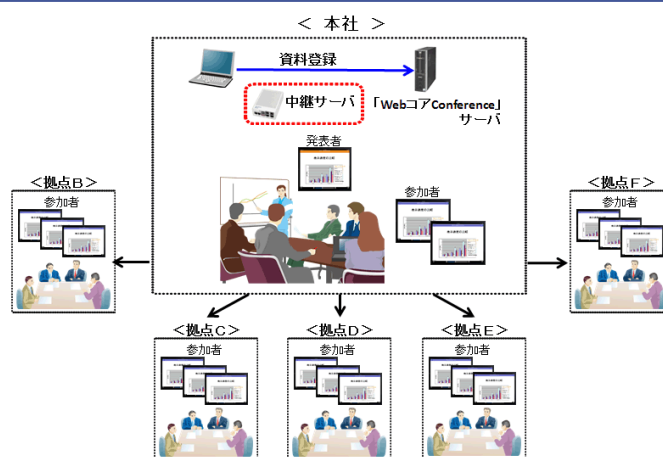
小池氏は続ける。「また、在宅勤務社員がリモート接続でテレビ会議に参加することもできます。オフィスの自分のパソコンに接続して『WebコアConference』のライブラリから資料を選び、テレビ会議にログインする。

顔は見えるし、発表資料の操作も他の参加者と同じなので、その場にいるかのようなバーチャル会議が成立します。」

『WebコアConference』とテレビ会議システムを組み合わせることでワークプレイスの変革を実現し会議の効率や生産性が格段に向上した。今後について、小池氏は語る。

「ワークスタイル変革の実現に必要な基盤は整い、今後『WebコアConference』の浸透が加速していくと考えています。我々は、当社で実践したノウハウをリファレンスモデルとして、費用をかけずに実現するワークスタイル変革をお客様へ展開していきます。」

「Wi-Fiさえつながれば場所を選ばない。社内システムに接続し、テレビ会議システムとペーパーレス会議システムを使って、世界中どこでも会議ができるのです。『ワークプレイス』を変革することで『ワークスタイル』の変革を実現します。」 リファレンスモデル化推進室 室長代理 小池克彦様



〔『WebコアConference』多地点間同期オプションPro 利用イメージ〕

会社概要

富士通エフ・アイ・ピー株式会社

所在地：本社 〒135-8686 東京都江東区青海2丁目4番32号
タイム24ビル

設立：1977年11月28日

資本金：180億円

売上高：1,016億円（2012年度、連結）

ホームページ：http://jp.fujitsu.com/group/fip

テレビ会議システム「SCOPIA（スコープ）」：

http://jp.fujitsu.com/group/fip/services/meeting/radvision/

富士通エフ・アイ・ピー株式会社は1963年に計算センターの事業で創業し、1989年に第一号のアウトソーシングセンターを開設しました。お客様の大切なデータをしっかりと守り運用する、安全性の高いデータセンターを北海道から九州まで全国16か所に展開し、これらのデータセンター機能を基盤として、「アウトソーシング」、「クラウド」、「ソリューション」の3つのサービスを提供しています。企画から設計、開発、移行、保守、運用まで、システムのライフサイクルを支援（LCMサービス）し、お客様に安心・安全で、高品質かつ高コストパフォーマンスのICTサービスを提供しています。

お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ(富士通SSL)

お問い合わせ総合窓口 044-739-1251

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス

http://www.ssl.fujitsu.com

※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載の内容は、2014年3月現在のものです。
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。

製品紹介ページ

http://www.ssl.fujitsu.com/products/website/wc_conference/